

令和3年度 鳴滝総合支援学校 学校評価アンケート(前期) 集計結果

※前期は校外演習未実施のため、項目6は集計せず

生徒		実現度			
		よく出 来ている	大体出 来ている	あまり 出来て いない	出来て いない
1	将来の夢や希望がある	34.8%	34.8%	23.2%	7.2%
2	共通教科で「わかった」「できた」と思うことがある	47.8%	49.3%	2.9%	0.0%
3	専門教科で「わかった」「できた」と思うことがある	62.3%	33.3%	2.9%	1.4%
4	職場等実習で「できた」「やりきった」と思うことがある	59.4%	31.9%	7.2%	1.4%
5	企業の協力により、職場等実習ができていることがわかっている	60.9%	31.9%	4.3%	2.9%
6	地域の協力により、校外演習ができていることがわかっている	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7	いろいろな知識や技能が身についてきていると思う	49.3%	43.5%	4.3%	2.9%
8	先生は、なんのために勉強するのかをはっきり教えてくれる	69.6%	26.1%	4.3%	0.0%
9	先生は、わかりやすく勉強を教えてくれる	66.7%	31.9%	1.4%	0.0%
10	先生は、学習の成果について、伝えてくれる	62.3%	34.8%	2.9%	0.0%
11	学習の成果を知って次の目標をたてている	40.6%	34.8%	18.8%	5.8%

12	卒業後の進路や生活について、先生や保護者と相談できている	31.9%	39.1%	21.7%	7.2%
----	------------------------------	-------	-------	-------	------

13	自分からあいさつをしたり、ていねいな言葉づかいで話すことが できている	44.9%	40.6%	13.0%	1.4%
14	病気や健康に気をつけながら、学校へ通っている	62.3%	31.9%	4.3%	1.4%
15	学校のきまりや約束を守っている	58.0%	36.2%	5.8%	0.0%
16	とまだちへのおもいやりをもち、お互いに協力している	53.6%	43.5%	2.9%	0.0%
17	学校や家庭で自分に任された役割があり、実行している	52.2%	33.3%	14.5%	0.0%
18	自分の長所がよくわかっている	40.6%	24.6%	26.1%	8.7%
19	自分は大切な存在だ、誰かに必要とされていると感じている	37.7%	31.9%	20.3%	10.1%

肯定的回答の割合が、昨年度より増加。中でも「学習についての項目」の中でプラス評価している児童生徒の割合が高くなっている。(2, 3, 4, 7, 8, 9, 10の項目で、昨年度90%→98.6%の生徒がプラス評価) 「わかる」「できる」と思えることで自信が付き、次の学習に向かうモチベーションにつながる。引き続き「わかった」「できた」という経験を積み重ね、学習面でさらに自信をつけていくことで、自分の長所への気づき、そして自己肯定感を育むきっかけになり、項目18, 19の肯定的回答へとつながればと考える。					
---	--	--	--	--	--

保護者		実現度			
		よく出 来ている	大体出 来ている	あまり 出来て いない	出来て いない
1	子どもは、将来の夢や希望を描けている	4.3%	62.9%	28.6%	4.3%
2	子どもは、共通教科で満足感や達成感をもっている	7.1%	70.0%	22.9%	0.0%
3	子どもは、専門教科で満足感や達成感をもっている	17.4%	71.0%	10.1%	1.4%
4	子どもは、職場等実習で満足感や達成感をもっている	22.4%	65.7%	7.5%	4.5%
5	企業のご協力により実習ができていることを理解している	42.9%	51.4%	5.7%	0.0%
6	地域のご協力により演習ができていることを理解している	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7	子どもは、学校や保護者が必要と考える「生きる力」を身につけて きている	15.7%	57.1%	24.3%	2.9%
8	子どもの目標や学習計画に基づいて、計画的に指導や支援がさ れている	31.4%	64.3%	4.3%	0.0%
9	子どもが理解しやすいように、授業や教材に工夫がみられる	30.0%	67.1%	2.9%	0.0%
10	子どもの努力や達成度について、適切に評価されている	36.2%	59.4%	4.3%	0.0%
11	子どもが次の目標を持てるように評価されている	33.3%	56.5%	10.1%	0.0%
12	短期目標や評価について、学校は保護者に適切に伝えている	45.7%	44.3%	8.6%	1.4%
13	子どもと卒業後の進路や生活について日頃から話をして共有して いる	18.6%	57.1%	24.3%	0.0%
14	個別の相談について、学校は保護者に適切に対応している	41.4%	55.7%	2.9%	0.0%
15	保護者として、本校の教育の趣旨や目的を理解している	35.7%	58.6%	5.7%	0.0%
16	子どもは、自分から挨拶をしたり、場に応じた言葉遣いで話すこと ができている	28.6%	50.0%	21.4%	0.0%
17	子どもは、健康な生活を送ることを意識して、自分なりの維持管 理に取り組んでいる	28.6%	58.6%	8.6%	4.3%
18	子どもは、学校のきまりや約束を守って学校生活を送っている	35.7%	57.1%	7.1%	0.0%
19	子どもは、友だちに対して思いやりを持ち、お互いに協力している	25.7%	68.6%	4.3%	1.4%
20	子どもは、家庭で任された役割があり、実行している	31.4%	41.4%	24.3%	2.9%
21	子どもは自分の長所に気づいている	10.0%	50.0%	31.4%	8.6%
22	子どもの自己肯定感が高まってきている	8.6%	54.3%	31.4%	5.7%

学習指導に関する項目(8, 9, 10)において、非常に高い評価となっている。これは児童生徒の評 価と連動しており、子どもたちの学習面における満足感を保護者も同じように持っていると考えら れることができる。一方項目7では、27.2%の保護者(昨年度17.9%)が「あまり出来ていない」「出来てい ない」と回答しており、児童生徒の回答結果とは隔たりがある。子供たちは学習において満足感・ 達成感を持っているが、「生きる力」が身につくところまでには至っていないと感じている保護者もい るということがうかがえる。 保護者からの相談に対して、個々のケースで丁寧かつ適切に行えていることが、項目14の結果から 読み取れる。引き続き、迅速で丁寧な対応を心がけている。					
--	--	--	--	--	--

教職員		実現度			
		よく出 来ている	大体出 来ている	あまり 出来て いない	出来て いない
1	児童生徒は、将来の夢や希望を描けている	15.9%	70.5%	13.6%	0.0%
2	児童生徒は、「共通教科」で満足感や達成感をもっている	22.7%	65.9%	9.1%	2.3%
3	児童生徒は、「専門教科」で満足感や達成感をもっている	29.5%	61.4%	9.1%	0.0%
4	児童生徒は、「職場等実習」で満足感や達成感をもっている	25.0%	68.2%	6.8%	0.0%
5	企業のご協力により実習ができていることを理解している	36.4%	52.3%	11.4%	0.0%
6	地域のご協力により演習ができていることを理解している	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7	児童生徒は、個別の包括支援プラン(キャリアプラン)に沿った「生 きる力」を身につけてきている	18.2%	65.9%	13.6%	2.3%
8	個別の包括支援プラン(キャリアプラン)に基づいて計画的な指導 を行なっている	34.1%	50.0%	13.6%	2.3%
9	学習効果を上げるため、指導法の改善に取り組んでいる	41.9%	48.8%	7.0%	2.3%
10	児童生徒の努力や達成度について適切に評価し、個別の包括支 援プラン(キャリアプラン)の作成や指導法の改善にいかしている	29.5%	56.8%	11.4%	2.3%
11	児童生徒が次の目標を持てるような評価をし、児童生徒に伝えて いる	38.6%	56.8%	2.3%	2.3%
12	個別の包括支援プラン(キャリアプラン)を基に、短期目標や評価を 保護者に適切に伝えている	43.2%	43.2%	11.4%	2.3%
13	児童生徒や保護者と卒業後の進路や生活について話をして共有 できている	36.4%	47.7%	15.9%	0.0%
14	保護者からの個別の相談に適切に対応している	54.5%	43.2%	2.3%	0.0%
15	保護者は、本校の教育の趣旨や目的を理解している	20.5%	70.5%	9.1%	0.0%
16	児童生徒は、自分から挨拶をしたり、場に応じた言葉遣いで話すこ とができている	25.0%	59.1%	15.9%	0.0%
17	児童生徒は、健康な生活を送ることを意識して、自分なりの維持管 理に取り組んでいる	27.3%	65.9%	6.8%	0.0%
18	児童生徒は、学校の決まりや約束を守って学校生活を送っている	40.9%	54.5%	4.5%	0.0%
19	児童生徒は、友だちに対して思いやりを持ち、お互いに協力してい る	31.8%	59.1%	9.1%	0.0%
20	児童生徒は、学校で任された役割があり、実行している	38.6%	56.8%	4.5%	0.0%
21	児童生徒が自己理解を深められるような取組をしている	31.8%	59.1%	9.1%	0.0%
22	児童生徒の自己肯定感が高められるように意識して指導にあたっ ている	34.1%	59.1%	4.5%	2.3%
23	教職員間での報告・連絡・相談を常に意識し、情報の共有に努め て いる	45.5%	40.9%	9.1%	4.5%
24	全教職員が「学校いじめの防止等基本方針」の内容を理解し、組 織的対応に努めている	45.2%	52.4%	2.4%	0.0%
25	児童生徒や保護者の訴え(アンケート結果含む)や相談内容を共 有している	40.5%	50.0%	7.1%	2.4%

学習面における児童生徒の満足感・達成感(項目2, 3, 4)については、90%前後の教職員が肯定的 に回答している。これは、児童生徒と保護者の回答結果と一致している。 項目9,12については、目標とする方向性やどこまで求めるのか、といったことを全教職員で共通認識 の場を持ちつつ、引き続き きめ細かい指導と保護者との丁寧な情報共有をしていく必要がある。					
---	--	--	--	--	--